

2004.09.01 IODP 部会事務局

日時：平成16年8月27日（金） 13:00～15:00

場所：海洋研究開発機構東京事務所セミナー室

出席者：執行部 徳山・荒井・伊藤・井龍・加藤・木戸・佐柳・徐（欠席：木村・巽）
事務局 山川・西川

【会費の旅費への使用について】

- ・ これまでの了解事項を見直し、会費の旅費に使用することを認める。（事務局は AESTO 内での経理処理が可能か最終確認する）
- ・ 陸上掘削部会から、同様の提案（シンポジウムへの招聘旅費の負担）がなされる予定であるので、この提案が出された時点で IODP 部会からも旅費の使用を認めたい旨の以降を伝え、両部会の新たな了解事項とする。

【国際パネル・国内専門部会等への対応】

- ・ 辻 SPPOC 委員から照会のあった、SPPOC 委員の任期につき、確認する。事務局から巽執行部員に確認。情報が整理された時点で、事務局から幹事会に SPPOC 委員の任期と交代について報告、玉木議長・辻委員等にも報告する。
- ・ 次回 SPC について、徐委員の代理委員として、徳山部会長を選任することが確認された。ただし、SPPOC 正規代理委員である徳山部会長が SPC 代理委員として出席できるかについては、SPC 議長に確認し、出席不可能の場合には早急に別の代理委員を立てる。
- ・ SSEPs 委員の公募について、井龍執行部員から結果の報告があった。ISSEP 委員は JAMSTEC の廣野氏、ESSEP 委員は千葉大の伊藤氏。今後幹事会への報告と、英文 CV の取り寄せ、IODP-MI Sapporo Office への通知を行う。
- ・ 伊藤執行部員・斎藤部会長補佐より、前回の SciMP・TAP 両会議を受け、今後の対応（両パネルでの共同検討事項・南海トラフの Project Scoping Group への我が国としての対応検討・その他）について協議するため7月26日に開催された、技術開発推進専門部会と科学計測専門部会の臨時合同会議の報告があった。今後、“All Japan Logging Consortium” の設立に向け、対応を進めていく（孔内計測 WG 中心に進める）。
- ・ 事務局より、本日の IODP 国内科学計画委員会（AESTO の委員会）について説明があり、この委員会の位置づけおよび J-DESC との関係について意見交換された。（詳細は委員会で検討）

【広報・国際対応関連】

- ・ IODP-MI の主催する IODP National Office Meeting（SPC の直前に開催）に、J-DESC から2名出席する。徳山部会長・斎藤部会長補佐を出席者としてノミネートしておくが、場合によっては交代もありうる。会議では、乗船研究者の募集方法、パネル委員のノミ

ネーション方法等について議論される見込である。

- ・ 事務局より、IODP 大学&科学館キャンペーンについて、番外編（松本・国立科学博物館・相馬高校）の報告があった。あわせて、第3回～第5回の文部科学省の後援名義使用が承認されたことが報告された。
- ・ キャンペーン番外編として、11月6日に開催予定の、専修大学での講演会につき、J-DESCの講演名義を使用することが認められた。講師の人選を進める（異執行部員）。
- ・ 埼玉県の高校地学教員の研究会での講演につき、講師の人選を進める（異執行部員）。
- ・ 木戸執行部員より、地質学会の準備状況について報告があった。今後、夜間小集会のプログラムを決定するとともに、展示ブース（CDEX/J-DESC 共同ブース）解説のアルバイト募集を行う。
- ・ 12月のAGUについては、USSAC、ECORDとの共同対応が必要と認識。今後日本側（J-DESC）から欧米側に働きかけてゆく。（IODP National Office Meeting で話題にする。）
- ・ 地球惑星科学合同大会に「掘削科学」セッションを設ける方向で対応することが認められた。（徐執行部員担当）
- ・ ACEX 航海乗船日記につき、日本科学未来館より同館ホームページでの掲載希望があったことにつき、条件付（ホームページには経緯の説明を加え、J-DESCのクレジットを入れる。研究成果の扱いに配慮する。など）で認めることとなった。今後、事務局よりMEXTおよびJAMSTECに確認し、了解が得られれば、日本科学未来館に正式に了解の返事をする。

【IODP 乗船研究関連】

- ・ 荒井執行部員より、IODP 乗船研究者の募集状況が報告された。次年度 MSP（タヒチ航海）について、乗船研究者の募集が開始された。CC-I, CC-II, NA-II の3航海については、追加募集中である。
- ・ アジア諸国からの研究者乗船について、タヒチ航海からの受付開始を目指し、関係機関の了解取り付け、募集の準備を進める。原則として、日本人と同条件で審査を行う。（徐執行部員・荒井執行部員）

【その他】

- ・ 今後のIODP 部会の運営につき、部会長補佐の退任（9月末）、部会長の交代（年度末）を含め、検討することが確認された。部会長人事については、幹事会との調整が必要であるため、9月2日のJAMSTEC・J-DESC 懇談会の際に、幹事会の意向を確認する。
- ・ 徳山部会長より、8月9日に開催され深海掘削委員会の報告があった。
- ・ 今後の乗船研究旅費負担、研究支援のあり方等につき、9月2日にJAMSTEC・J-DESC 懇談会が開催され、J-DESC 側からはIODP 部会幹事会・執行部会のメンバーが出席する。
- ・ 都立大学より、昨年度会費の未納につき、追納が困難であることが申し入れられたことについて、都立大学の入会日を本年4月1日とすることが認められた。なお、昨年度に作成された各種会議議事録等の公式文書からは、都立大学の名前を削除する。
- ・ 次回執行部会の日程は後日調整する。